

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

| | |
|--|---|
| (整理番号) 099 | 提案機関名 神奈川県 水源環境保全課 |
| 要望問題名 スギ・ヒノキの地位別樹高曲線の更新について | |
| 要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 水源の森林づくり事業における森林施業の基本は適正な密度管理であり、間伐の実施や伐採率を検討する上で技術的な判断基準として、収量比数を用いている。 収量比数を求めるためには樹高の情報が必要であるが、現地調査により把握するほか、地位別樹高曲線を活用している。（本県では収量比数を簡便に求めるため、森林総合研究所作成の計算プログラムにより収量比数判定表を作成している。） しかしながら、本県の地位別樹高曲線（価値の高い山づくりの手引き（神奈川県林業試験場；1986））は作成されてから30年以上経過しており、当時はまだ多くなかった高齢級林分の成長予測を中心に修正が必要ではないかと考えられ、更新を要望する。 | |
| 解決希望年限 | ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 |
| 対応を希望する研究機関名 | ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター |
| 備考 | |

| | | | |
|---------|---|------|-------|
| 回答機関名 | 自然環境保全センター | 担当部所 | 研究連携課 |
| 対応区分 | ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可 | | |
| 試験研究課題名 | (①、②、④の場合) | | |
| 対応の内容等 | 林齢が明示されている高齢級のスギ・ヒノキ林分における林分調査データが一定数以上あれば、樹高成長曲線などの修正が可能なので、関係課と連携した対応について検討する。 | | |
| 解決予定年限 | ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 | | |
| 備考 | | | |